

次期計画策定の方向性について

米子市福祉保健部福祉政策課

令和6年1月30日

第7回地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会資料

- 1 現行計画の策定趣旨
- 2 次期計画の策定にあたって
- 3 次期計画で特に重要となりそうなポイント
- 4 計画更新の流れ
- 5 計画更新にあたっての調査
- 6 今後のスケジュール

1 現行計画の策定趣旨

【社会背景】

少子高齢化、核家族や単身世帯の増加、人口減少、ライフスタイルの多様化、個人主義的傾向の強まり等

【地域社会】

地域福祉活動の担い手不足、住民団体の組織力の低下により、地域を中心とした住民同士の支え合いの機能が弱まり等



地域で孤立して支援が行き届かない世帯の問題や、様々な福祉課題や要因が絡み合っ問題が複雑化し、既存の福祉制度だけでは解決が難しい問題への対応が課題

誰もが住み慣れた地域で年齢や障がいの有無等に関わらず尊厳を持ちながら安心して暮らしていくことができる社会をめざして、福祉制度の縦割りの解消や官民協働により、それぞれが活躍できる仕組みの構築のために、これまで別々に策定してきた、**米子市の『地域福祉計画』と米子市社会福祉協議会の『地域福祉活動計画』を統合し、一体的に策定**

2 次期計画の策定にあたって

【一体的な計画の策定により得られた効果と課題】

- (効果)
- ・米子市と米子市社会福祉協議会のパートナーシップが促進された
 - ・行政計画と現場実践のつながりが強くなった
 - ・担当部署が複数ある取組内容について、担当部署を明らかにし進捗管理を行うことができた
 - ・それぞれ単独で策定していた計画に比べ、取組の幅が広がった
- (課題)
- ・地域福祉活動計画の内容が見えにくくなった
 - ・取組の幅が多岐に渡ることにより、計画の重要点がぼやけてしまった



【次期計画策定の方針】

- ・一部課題はあったものの、現場実践に即した政策立案や守備範囲の向上などのメリットは大きく、次期計画も米子市と米子市社会福祉協議会の協働策定による一体的な計画として、現行計画の更新を行う
- ・幅広い取組の中で、米子市と米子市社会福祉協議会がそれぞれ注力すべき点を明らかにするとともに地域福祉活動計画側の存在感を明確に示す

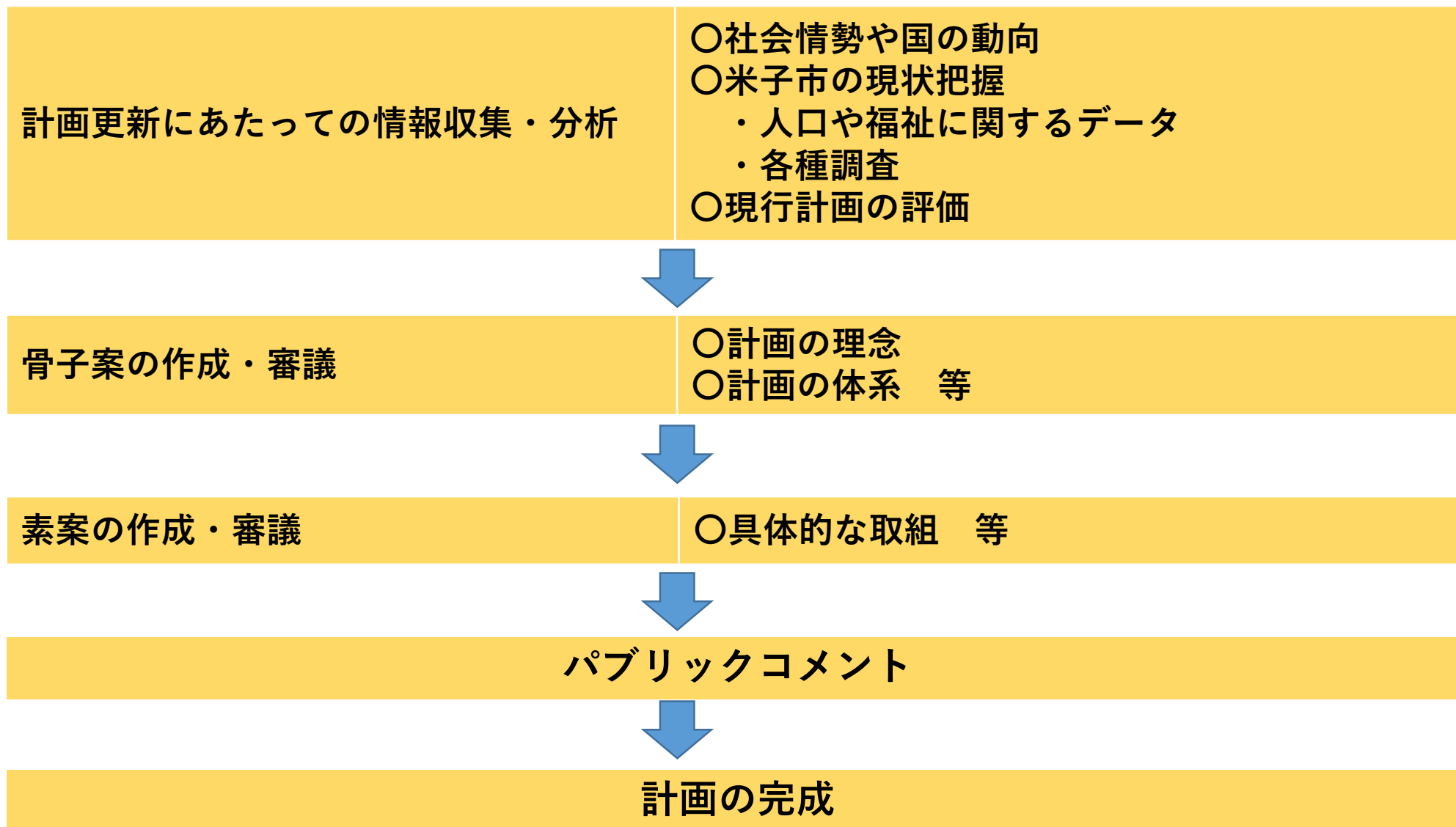
3 次期計画の中で特に重要となりそうなポイント

「地域共生社会」の実現を目指して・・・



- (1) **包括的な支援体制の拡充**に関する事
- (2) **社会的孤立の防止**に関する事
- (3) **福祉教育や人材育成**に関する事

4 計画更新の流れ


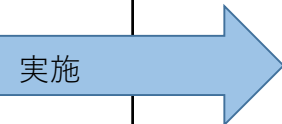
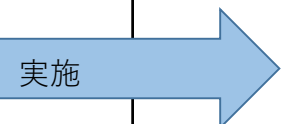


5 計画更新にあたっての調査

- (1) えしこにのアンケート
- (2) コミュニティワーカーの担当地区における座談会
- (3) 米子市の未来を担う生徒とのワークショップ

詳細は資料3参照

6 今後のスケジュール

	令和5年度		令和6年度											
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
推進委員会の開催			・ 1次計画 の評価 ・ 調査報告		・ 素案の 審議		・ 素案の 審議		・ 素案の 審議					・ 完成版の 最終審議
庁内検討会の開催			実施		実施		実施		実施				実施	
①えしこにアンケート	実施													
②CW座談会	実施													
③ワークショップ	実施													
パブリックコメント													実施	